



目黒 公郎

防災ビジネスによる信頼性の高い地域環境づくりと社会貢献

防災ビジネス市場の体系化に関する研究会

RC-77

1. 代表幹事

目黒 公郎 (東京大学 生産技術研究所 教授)
幹事
 沼田 宗純 (東京大学 生産技術研究所 講師)
委員
 秦 康範 (山梨大学 准教授)
 佐藤 唯行 (NPO 法人シュアティ・マネジメント協会理事長)
 郷右近英臣 (東京大学 生産技術研究所 助教)

連絡先

目黒公郎
 Tel : 03-5452-6436
 Fax : 03-5452-6438
 e-mail : meguro-s@iis.u-tokyo.ac.jp
 meguro@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

東日本大震災の影響は未だに続き、特に福島県の復興には、多くの課題の解決と時間をかけた取り組みが必要です。この大震災からの復興を、国全体の問題として真摯に取り組むことが、被災地はもちろん、首都直下地震や南海トラフの巨大地震などの被害軽減に重要です。この震災以来、従来の細分化が進んだ特定の学問分野や少数の関連分野の連携だけでは解決できない問題が多いことを痛感するとともに、防災研究者として自然の驚異と研究者が忘れてはいけない自然に対する敬意や謙虚な姿勢の重要性を再認識しています。

ところで、現在の我が国の財政状況や少子高齢人口減少を考えれば、今後の巨大地震災害への取り組みは「貧乏になっていく中での総力戦」です。しかも事後対応のみによる復旧・復興が難しいことから、脆弱な建物や施設の強化とともに、災害ポテンシャルの高い地域から低い地域への人口誘導など、発災までの時間を有効活用したリスク軽減対策が不可欠です。また「自助・共助・公助」の中で、今後益々不足する「公助」を補う「自助」と「共助」の確保とその継続がポイントになります。これらの課題への対応は、研究的には理工学と人文社会学や医学を含む関連分野の融合した研究成果に基づくハードとソフトの組み合わせ、さらに産官学に金融とマスコミを合わせた総合的災害マネジメントが、社会環境としては、防災対策の「コストからバリューへ」の意識改革とそれを推進する防災ビジネスが重要です。従来のコストと考える防災対策は「一回やれば終わり、継続性がない、効果は災害が起こらないとわからない」ものになりますが、バリュー（価値）型の防災対策は「災害の有無にかかわらず、平時から組織や地域に価値やブランド力をもたらし、これが継続される」ものになります。

そこで東京大学生産技術研究所の目黒研究室（都市基盤安全工学国際研究センター（ICUS）の災害安全社会実現学部門）は（一財）生産技術研究奨励会の特別研究会として、「防災ビジネス市場の体系化に関する研究会」を設立しました。本研究会では、現在の限られた防災市場を対象とするのではなく、この市場を大きく拡大するとともに、CRSではなく現業のビジネスとして関係者が取組むことのできる市場の創造と体系化を実現する技術やサービスを検討します。具体的には、①東北の震災復興に向けた「防災ビジネス」からの具体的な提案、②今後予想される首都直下地震や南海トラフの巨大地震による災害の備えに貢献する「防災ビジネス」の提案、③東京オリンピック・パラリンピック（2020年）の安全な開催のための防災や危機管理上の課題を抽出し、この解決に貢献する「防災・危機管理ビジネス」を提案します。

平成30年3月末までを目途に、大学と産業界の知恵と資源を有効活用し、わが国を襲う様々な災害から市民の生命と財産を守り、発生する障害の最小化に貢献するための国内外の防災ビジネス市場を体系化し、俯瞰的な視点から必要な技術や知恵を社会に提供する新しい仕組みを構築していきます。

3. その他

期 間：平成28年4月～平成30年3月末

参加費（年度当たり）：賛助員の場合：10万円（別途賛助員年会費1口10万円がかかります）

非賛助員の場合：20万円

定 員：特になし

運 営 方 法：年5回程度の全体会以外に、ワーキング（WG）の活動を行います。メンバーによる議論に基づいて、WGを立ち上げ、主旨で説明したいいくつかの課題に対して、防災・危機管理ビジネスからの具体的な提案に向けた分析と検討を行います。

特別研究会申込方法

下記連絡先まで郵送、FAXまたは電子メールでお申し込みください。

連絡先：〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内 Dw405

一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係

TEL：03 (5452) 6095 FAX：03 (5452) 6096

e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp

●ホームページアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/

平成28年度 特別研究会申込書

いずれかに○をつけてください。

申込日：平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

[] 新規

[] 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

(1) 特別研究会No. : RC-

.....

(2) 貴社名 :

.....

(3) 参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）

■氏名 :

.....

■所属 :

.....

■役職 :

.....

■勤務先所在地 : 〒

.....

■電話番号 :

■Fax :

.....

■E-mailアドレス :

.....

(4) 事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）

■氏名 :

.....

■所属 :

.....

■役職 :

.....

■勤務先所在地 : 〒

.....

■電話番号 :

■Fax :

.....

■E-mailアドレス :

.....

(5) その他（ご希望や新しい特別研究会のご提案も歓迎いたします。別紙でも可）

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。

(1口につき年会費10万円)

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。

(1口につき年会費10万円)

4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。